

まちづくりWEEK2025SUMMER開催報告

Maebashi Ridgeline Community Engagement 2025 Summer Report

Overall_概要

8.20.2025
水曜日

ステーキホルダーWS
参加者:21名

8.21.2025
木曜日

ステーキホルダーWS
参加者:20名

8.22.2025
金曜日

ステーキホルダーWS
参加者:8名

8.23.2025
土曜日

まえはし縁側トーク
質疑応答:43名

8.24.2025
日曜日

まえはし縁側トーク
質疑応答:34名

2025SUMMER

まちづくりWEEK

参加者

計575名

まちづくり会議+

シンポジウム

アンケート

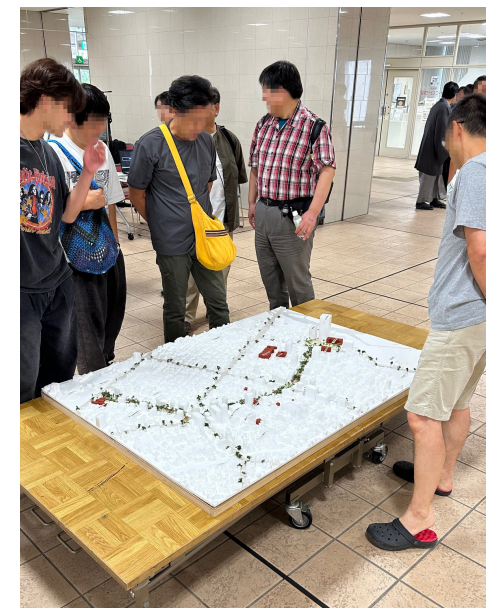
計200回答

オープンハウス
参加者:50名

オープンハウス
参加者:77名

シンポジウム
参加者:300名

ワークショップ
参加者:22名



まちづくりWEEK 2025SUMMER概要

2025年8月に計5日間の日程で行われた。

第一回目のまちづくりWEEKは、ステーキホルダーワークショップ、オープンハウス型ワークショップ、前橋縁側トーク、そしてリッジラインウォークショップの4種類の運営形態で行われ、同時にシンポジウムも行われた。

ワークショップは、

- ・ テーマ1:これまでの、そしてこれからの前橋のまちづくり
- ・ テーマ2:前橋リッジライン計画の紹介
- ・ テーマ3:前橋の未来を共に描く

以上の3つのテーマに分けて、計15枚のボード展示形式と、中心市街地の大きな地図と前橋リッジラインコンペ時の提案の計画地平面図を使用した2つのテーブル形式、そしてアンケートを行った。



+ オープンハウス当日の様子



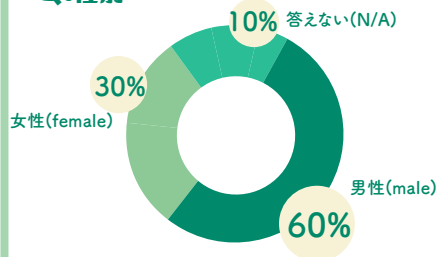
まちづくりWEEK2025SUMMER開催報告

Maebashi Ridgeline Community Engagement 2025 Summer Report

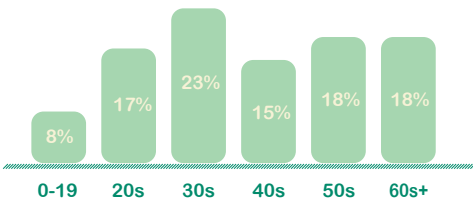
Overall_概要

参加者プロフィール

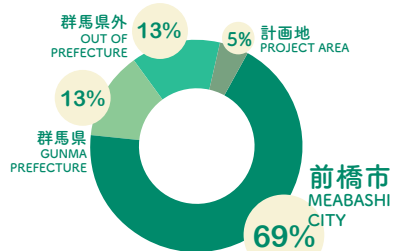
Q.性別



Q.私の年齢は?



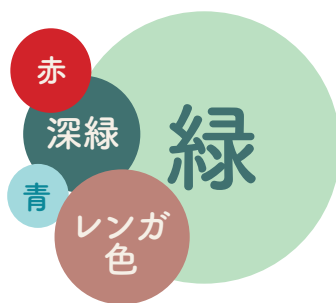
Q.居住地域は?



Q.本日のここまでの移動手段は?



Q.前橋のイメージの色は?



Q.前橋を一言で表すと?

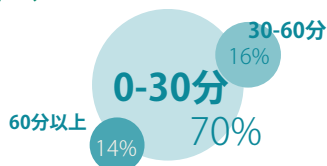
一番好きな場所
行政 歴史
緑/水/自然 アート
若者 めぶく
糸の町

Q.前橋のランドマークは?

白井屋ホテル



Q.1日どれくらい歩きますか?



Q.前橋の思い出深い出来事もしくは場所?

馬場川・中央商店街・広瀬川
利根川・県庁・るなぱあく
前橋花火大会
敷島公園

Q.未来の前橋に“あったら”まちなかに出かけると思うもの?

自然環境と公共空間の充実

- ・緑地や公園、水辺空間の整備
- ・日陰やベンチなど、歩きやすく滞在しやすい空間づくり

交通・移動の利便性

- ・公共交通の充実、バスやモビリティの改善
- ・自転車や徒歩でも安全・快適に移動できるインフラ

にぎわいと商業・交流の場

- ・商店街やカフェ、屋台、イベントなど、多世代が集える空間
- ・若者や観光客を惹きつける文化的・経済的なにぎわいの創出

文化・歴史の継承と活用

- ・歴史的建物や地域資源の保全と活用
- ・前橋らしいアイデンティティの発信

世代を超えた居場所づくり

- ・高齢者から子どもまで安心して集える場
- ・学び・交流・遊びが融合したコミュニティ拠点

Q.前橋リッジラインにあったら“いいな!”と思うものは?



前橋クリエイティブシティ

MAEBASHI CREATIVE CITY



私の前橋での移動体験 – 現在

User Journey – Current Situation

参加者ヒアリング概要

主な訪問先・目的

- ・役所/公共関係: 元気21、八幡宮神社、県庁、税務署、保健所、郵便局
- ・販売/飲食/サービス: マルエドラッグ、セブンイレブン、けやきウォーク、美容室、清香園
- ・金融/保険関係: 会計事務所
- ・教育: 塾、学校、図書館
- ・イベント: バルストリート、上毛マルシェ、キッチンカー企画など

移動方法とパターン

- ・“まちなか”では徒歩及び自転車での移動が見られるが、“まちなか”までは車やバスを利用。
- ・シェアバイクやスクーター等のマイクロモビリティはまだまだ少数派。
- ・夜間に飲食店を転々とする利用者も存在。

要望や意見

- ・歩いて行きたくなるような店や目的地が欲しい
- ・路上でのにぎわいの創出
- ・冬の風や、夏の日差しや暑さへの対応
- ・トランジットモールによる渋滞が心配



歩き



自転車



公共交通



車



LET'S ENVISION THE FUTURE OF MAEBASHI TOGETHER

前橋の未来を共に描く

+ 「私の前橋での移動体験」演習まとめ

前橋の歴史において重要な場所

- ・臨江閣、県庁32F・昭和庁舎、朔太郎の生家など、歴史的建築や文化人ゆかりの場所。
- ・商業施設 {前橋テルサ(跡地)、上毛倉庫など}の「ヒューマンパブリックスペース」への利活用の希望

前橋で思い出のある場所

- ・通学路、散歩道や地域の伝統的なイベントなど日常生活と密着した場所の記憶が中心。
- ・「馬場川での遊び、比刀根橋、けやきウォーク、前橋市立図書館」など、身近な公共空間の記憶
- ・お祭りやイベントなど世代を超えた共有体験も多かった。

前橋のユニークな場所や体験

- ・「七夕まつり」「前橋まつり」など、地域イベントを軸とした人の集まり。
- ・「アーツ前橋」「弁天アパートメント」「シェアオフィス」など、文化的再生の拠点。

前橋で最も好きな屋外空間

- ・「前橋の花火」「広瀬川」「馬場川」「前橋公園」など、水辺・花・山など自然と共存する場所。

“前橋”らしさ

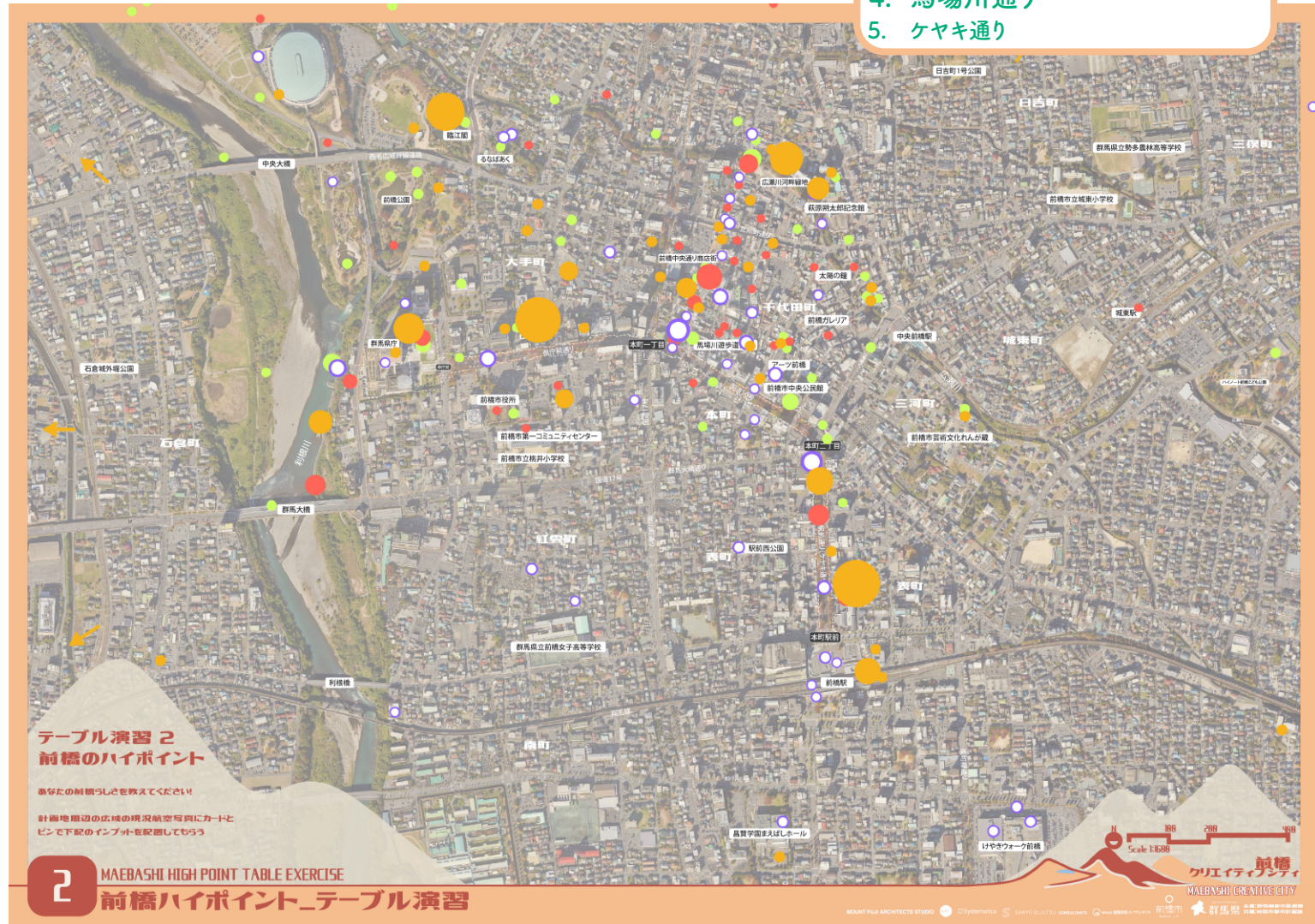
- ・近代建築・文学・県庁・文化、レトロな施設と新しい文化拠点が共存している点
- ・生活の中に文化があるまち、世代が交わる温かいスケール感
- ・水と緑の豊かさ、赤城山を背景とする風景、自然とまちの一体性と生活への結びつき
- ・まち全体が動く、文化と日常を結ぶ活動性。自然・歴史・商業が混ざり合った混沌

これからへの懸念と要望

- ・歴史的建物/仕組み/景観の復元、保存そして活用
- ・交流空間の不足：駅周辺や市内に世代を超えて交流できる「ヒューマンパブリックスペース」の不足
- ・食や商業の文化的記憶：食や商業が地域の記憶と結びついた場所を大事にしたい
- ・自然環境に根ざした場所づくり：単なる自然空間にとどめず、人が集い交流できる場所への期待

前橋ハイポイントTOP5

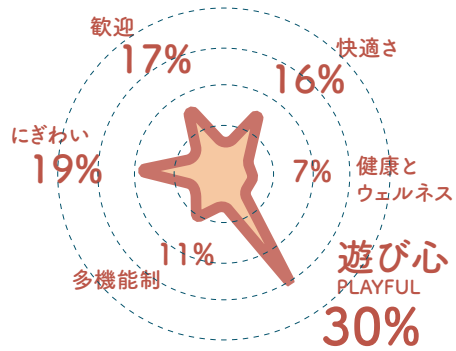
1. 赤城山・広瀬川
2. 弁天通り
3. 旧前橋駅と噴水(思い出)
4. 馬場川通り
5. ケヤキ通り



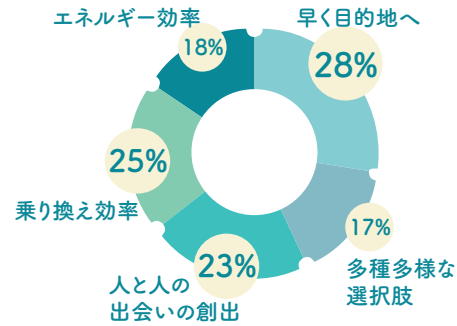
まちづくりWEEK2025SUMMER開催報告

Maebashi Ridgeline Community Engagement 2025 Summer Report

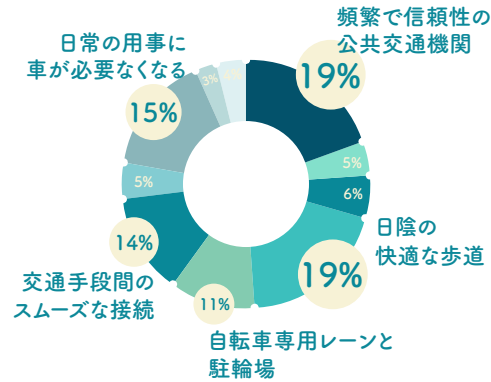
Q.未来の前橋市民の豊かな生活のために、この空間において最も重要な目標は何ですか？



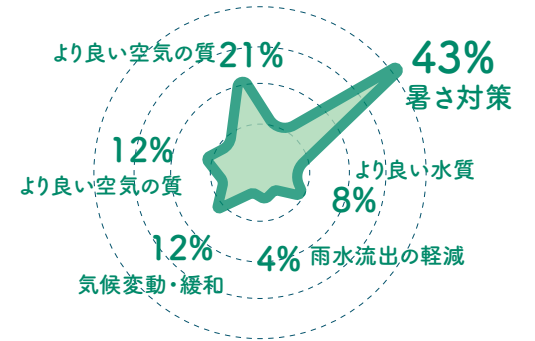
Q.前橋市の未来における「モビリティ」の主な目標は何ですか？



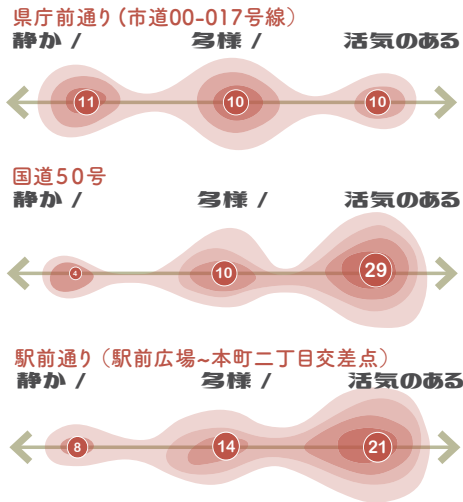
Q.つぎのうち、なにが整えば、車ではない手段でまちを移動したいと思いますか？



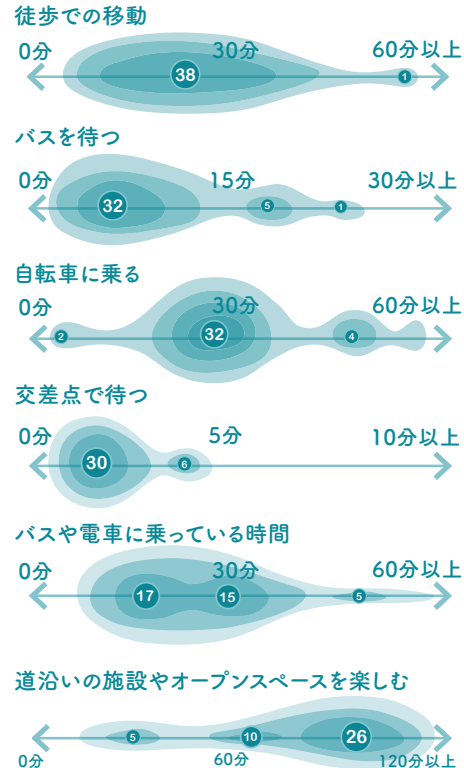
Q.前橋市の未来における「自然」環境を守る」に関するあなたの主な目標は何ですか？



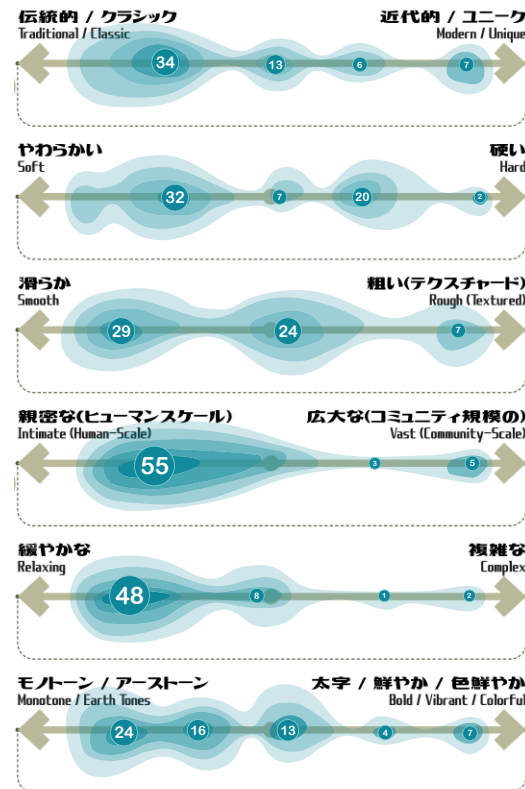
Q.3つの道路エリアについて、将来の雰囲気はどのようにすべきだと思いますか？



Q.次にあげる活動にどの程度の時間を費やしたいと思いますか？



Q.未来の「前橋らしさ」を考えたときに共感するものは？



Q.このプロジェクトを通して特に効果を期待する、もしくは興味のある自然的環境やプログラムは何ですか？

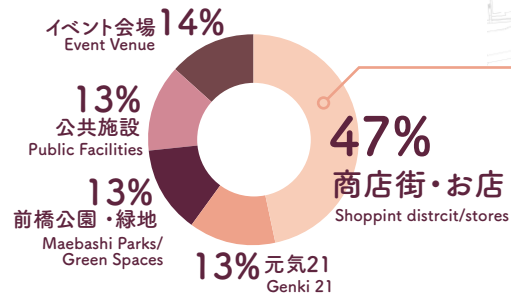


まちづくりWEEK2025SUMMER開催報告

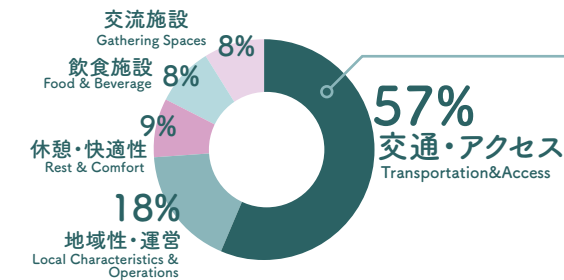
Maebashi Ridgeline Community Engagement 2025 Summer Report

Approach 方向性

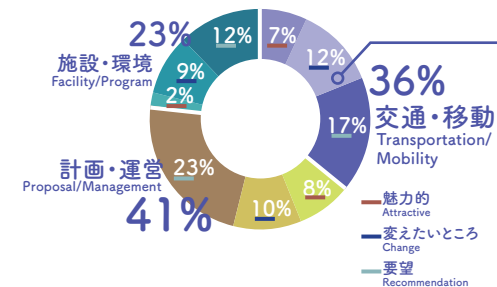
Q.現在、計画地を訪れるときの移動方法と目的



Q.滞在の決め手となる施設やプログラム(集計)



Q.前橋リッジラインの魅力または、変えたいところ(集計)



地元の声:訪れたくなる目的

- ・ 日常的な暮らしに必要な施設や買い物
- ・ 歴史や文化に触れる機会
- ・ 眺望や散歩を楽しむ
- ・ 市民交流・世代間の繋がりを生む場所
- ・ 公共交通の集約拠点

地元の声:期待する施設やプログラム

交通・アクセス

- ・ 自転車が安心して駐車できる場所
- ・ まちなかを歩く人のための駐車場計画

休憩・快適性

- ・ 親水空間、ミスト
- ・ ゆっくりと寛ぎのある場所

施設・地域性・運営

- ・ みんなが軽い運動をできるスペース
- ・ みんなが遊べる仕掛け
- ・ 誰もが気軽に利用できるカフェや飲食店
- ・ 日常生活を支える商業施設。
- ・ 出店が色々できるような施設設備
- ・ 文化活動をサポートする施設
- ・ 高齢者が安心でき、立ち寄りやすい医療施設
- ・ 次世代への住宅施設

地元の声:計画の魅力や変えたいところ

交通・歩行空間・アクセシビリティ

- ・ 沿道施設や店へのアクセス(道路)の整備
- ・ 自由に乗り降りできるような小型モビリティの設置
- ・ 段差のない街へ、バリアフリーへの配慮
- ・ 車椅子に五差路の傾斜はきつすぎる気がする

環境・快適性・高い滞在性

- ・ 気候に対応した歩行環境の改善
- ・ 公共空間の緑化、+緑と一体化した空間

将来像

- ・ 子供が走れるまち
- ・ イベントがある際の集える場所
- ・ 若者だけでなく、シニアにも快適な街に

地元の声:その他の要望と懸念

交通整備に関して

- ・ 駅周辺を拠点とした移動と、アクセス改善
- ・ 市道の拡幅があれば、トランジットモールに車が入らなくてもよいのでは？
- ・ 五差路の改良後は方向に制限なく、通行規制はしないことが望ましい
- ・ 車やバイク利用者への配慮も必要
- ・ 公共交通の本数を増やすサポートが必要
- ・ 17号や五差路の交通渋滞の懸念
- ・ 近隣の施設や公園との繋がりを整備

前橋らしさ

- ・ 五差路はまちのアイデンティティの一つ
- ・ 教会が集中する通りや地域性を活かすこと

"まちづくり"について

- ・ メンテナンスや運営への課題を心配
- ・ 偏重なく各年代の声を拾うことが重要
- ・ 急速に進む高齢化に対するまちづくりが忘れられている
- ・ 大胆な実験的まちづくりへの期待
- ・ 自治会住民対象の説明会開催を希望

"前橋リッジライン"への課題

- ・ ケヤキの根処理、景観維持
- ・ ファミリーや若者が集まれる空間が必要
- ・ "人が歩きやすい＝人に優しい"とは限らない
- ・ 車道に囲まれた空間で「集え」と言われても難しい
- ・ 県民広場のブリッジは"のぼるストーリー、のぼらせるストーリー"が必要。ただ見るだけではダメ
- ・ 象徴的な仕掛けやシンボル性が求められる
- ・ 駅前通りの活性化は「費用対効果」に疑問
- ・ 世代を超えて楽しめる遊び・公共空間をまちづくりに求めている